

事業所における児童発達支援自己評価表(公表)

2020年度期

事業所名：TAKUMI南千住（児童発達支援）

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令を順守したスペースは勿論のこと、建築基準法による用途を変更し運動のできるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	法令で定められている配置数に加え、保育士、児童指導員等、その他指導員のいずれかを1名乃至2名以上を配置する体制を取っており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	玄関から活動スペースに段差はない。室内の洗面台前には段差があるが、こうした個所で人的サポートお行うことで配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日、活動後に清掃（除菌を含め）を行い清潔を保っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	ヒヤリハット、事故対策、会議議事録、感染対策、虐待防止対策、研修実施議事録、相談苦情、非常災害対策等々の担当者を割り振り、定期的なミーティングを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を今年度には実施し、業務改善に繋げていきたいと考えている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	当社ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行ってないが、今後3年に1回は実施していきたいと考えている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	療育に関係のある外部研修には各自積極的に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や活動についての反省点や疑問点をその日の内に改善、解決している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。保護者（本人）のニーズは、面談時だけでなく毎回のフィードバック時にも申し出て頂いている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	現在標準化されたアセスメントツールは使用していないが、適応行動の状況は日々のミーティングで確認している。今期中には標準化されたアセスメントシートを用意していきたいと考えている。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	ガイドラインに沿い、計画時期に合わせ支援内容を全スタッフでミーティングを行い設定を行っている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	毎回、ミーティングを行い支援内容を確認し支援を決めている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	運動・創作担当でミーティングを行い、活動内容のプログラムを決めている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	お子様の状況や課題に合わせ、活動内容を決めている。お子様の特性に合わせ、同じ内容を長めに設定することもある
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	小集団クラスと集団クラスを設けており、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っている。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っている。年度替わりのクラス編成時にも、小集団クラスと集団クラスの見極めを行い、保護者への説明も行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を設け、一日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。記録を必ず残し、休みのスタッフへも情報共有を図っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）にも記入し、検証している。
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的には保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、モニタリングをして計画の見直しの必要性を判断している。
	関	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じて検討していきたい。
23		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	
24		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現時点では情報共有は行っていないが、必要に応じて連絡体制を整え情報共有を整えていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現時点では情報共有は行っていないが、必要に応じて連絡体制を整え情報共有を整えていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	東京都、荒川区等が運営する公開研修や療育セミナーに積極的に参加し、その中で助言を受けたり、情報収集を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していないが、保護者からの声も確認し、今後、必要に応じ検討していきたい。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	必要に応じて参加をしている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	ペアレントトレーニングは特に実施していないため、今後、保護者と連携をとり、必要に応じ検討していきたい。また、実施する際は、ペアレントトレーニングの外部研修も受講し、適切な支援に繋げていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	支援計画時期に児発管が保護者と面談を行い、支援計画書を作成。作成後は内容を確認して頂き、計画書を再度説明を行いサインを頂いている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が悩みを話せるように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングを行い回答するように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会や保護者会は行っていないが、通所時に保護者の見学スペースを設けており、そこで保護者同士で情報交換や相談等を行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情・要望については、受けた時点で都度対応し早急に改善している。意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置は今後必要に応じ検討していきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報等は発行していないが、長期休暇に行う特別プログラムの案内や社員紹介などは契約者全員に紙面で発信している。また連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料、個人名の入った書類等は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	耳の間こえにくい方への伝え方は、運動道具や紙を使用して配慮しているが、それ以外は特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類は存在し、職員には周知しているが、保護者への周知はまだできていないため、今後、周知していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	通所の療育中に、全クラスにおいて避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約時にフェイスシートに保護者に記入をして頂いている。記入内容や保護者への聞き取り内容を全スタッフで共有をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	当教室では食事提供がないため、聞き取りは行っていない。今度イベント等で食事を提供する機会がある場合には、聞き取りを行っていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	担当者が東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となり職員に講習している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	事業所内に拘束を行う方針がないため未対応であるが、担当者が研修に参加しているため、今後必要に応じ検討していきたい。

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果(公表)

2020年度期

事業所名：TAKUMI南千住（児童発達支援）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	2	0	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	3	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	2	0	1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	1	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	2	1	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	5	6	交流の機会はない	今後、検討してまいります。
保 護 者 へ	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	2	0	1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	2	1	1	ガイドラインの話題は出されていない	より分かりやすく今後はご説明させていただきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	6	6	利用し始めたばかりなのでわからない。ペアトレの話は聞いたことがない。	今後、検討してまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	3	0	0	子供の様子を細かく把握し、今後こうなっていけたら良いという所を丁寧に説明して下さるので、大変ありがたいです。定期的にまとまったフィードバックをしている。	さらに良くなるように努めてまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	3	2	1	子供の様子をよく話してくれるので安心	さらに安心していただけるよう努めてまいります。

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	8	5	入ったばかりなので分かりませんが、運動療育では求めています。 コロナの影響なのか、話をきいたことがない。	いつでも見学が可能となっており、活動中に保護者同士がコミュニケーションをとれる場所となっておりますので、ご利用ください。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	3	0	2		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	3	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	3	1	4	見たことがないのでわからない	行事がある場合には口頭での説明に加え、教室内にポスター掲示や手紙を配布していますので機会があればお声がけください。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15	0	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	3	0	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	3	0	1		
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13	2	0	1		
	23	事業所の支援に満足しているか	14	2	0	0	運動や工作を通して様々な成功体験を得させてもらえたり、集団生活のルールを指導していただいたり、優しく接していただき大変満足しております。 いつも子供は楽しみにしております。 ありがとうございます。 うちの子はルールがなかなか入らないので、そういう子に対してさらに個別に個別補助などがあるとわかりやすいかも・・・	保護者様とのコミュニケーションを大切に、常に課題に取り組める内容に工夫をして参りたいと思っております。

事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2020年度期

事業所名：TAKUMI南千住（放課後等デイサービス）

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令を順守したスペースは勿論のこと、建築基準法による用途を変更し運動のできるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	法令で定められている配置数に加え、保育士、児童指導員等、その他指導員のいずれかを1名乃至2名以上を配置する体制を取っており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関から活動空間は段差はない。室内の洗面台前には段差があるが、こうした個所では人的サポートを行うことで配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	ヒヤリハット、事故対策、会議議事録、感染対策、虐待防止対策、研修実施議事録、相談苦情、非常災害対策等々の担当者を割り振り、定期的なミーティングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を今年度には実施し、業務改善に繋げていきたいと考えている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後3年に1回は実施していきたいと考えている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	療育に関係のある外部研修には各自積極的に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は日々の療育終了後に1日を振り返り、運動方法や活動についての反省点や疑問点をその日の内に改善、解決している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。保護者（本人）のニーズは、面談時だけでなく毎回のフィードバック時にも申し出て頂いている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在標準化されたアセスメントツールは使用していないが、適応行動の状況は日々のミーティングで確認している。今期中には標準化されたアセスメントシートを用意していきたいと考えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	子どもの発達・成長に合わせ、必要に応じて臨機応変に行っている。 今年度はリトミック要素を取り入れたプログラムも導入している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は日曜日が定休日であり、サービス提供は平日と特段変わりがないため、基本的には同じ内容で実施している。また、長期休暇には特別プログラムを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	小集団クラスと集団クラスを設けており、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っている。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っている。年度替わりのクラス編成時にも、小集団クラスと集団クラスの見極めを行い、保護者への説明も行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を設け、一日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。記録を必ず残し、休みのスタッフへも情報共有を図っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）にも記入し、検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、モニタリングをして計画の見直しの必要性を判断している。
関係機	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	総則の基本活動の中の「地域交流の機会」については、時間的な制約やプログラムの特性から行えていないが、それ以外は、子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	現在はサービス担当者会議が行われていないため参加していないが、担当者会議があれば児発管が参加する予定。将来的には指導員の参加も検討していきたい。
関係機	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎サービスがないこともあり、学校との情報共有は行っていないが、保護者から間接的に学校情報をもらうことはある。今後、必要に応じて学校との連携を検討していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	過去に放課後等デイサービスを卒業した児童はいないが、資料を提供できる体制は整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	東京都、荒川区等が運営する公開研修や療育セミナーに積極的に参加し、その中で助言を受けたり、情報収集を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していないが、保護者からの声も確認し、今後、必要に応じ検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	必要に応じて参加をしている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングは特に実施していないため、今後、保護者と連携をとり、必要に応じ検討していきたい。また、実施する際は、ペアレントトレーニングの外部研修も受講し、適切な支援に繋げていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを話せるように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングを行い回答するように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会や保護者会は行っていないが、通所時に保護者の見学スペースを設けており、そこで保護者同士で情報交換や相談等を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情・要望については、受付時点で都度対応し早急に改善している。意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置は今後必要に応じ検討していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等は発行していないが、長期休暇に行う特別プログラムの案内や新入社員紹介などは契約者全員に紙面で発信している。また連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料、個人名の入った書類等は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	耳の間こえにくい方への伝え方は、運動道具や紙を使用して配慮しているが、それ以外は特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類は存在し、職員には周知しているが、保護者への周知はまだできていないため、今後、周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	通所の療育中に、全クラスにおいて避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	担当者が東京都主催の虐待防止の研修に参加し、参加者が講師となり職員に講習している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	事業所内に拘束を行う方針がないため未対応であるが、担当者が研修に参加しているため、今後必要に応じ検討していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについては詳しく聴取し、事務所内に一覧表を張り出し、当事業所内で食物を口にする「おやつ」ではアレルギー源を含むものは提供していない。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。

## 保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

2020年度期

事業所名：TAKUMI南千住（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	3	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	3	1		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	19	0	0		
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	1	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	12		
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	18	1	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	4	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	7	9		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	9	0	機会がなかったので分かりません	お話を受けた際には迅速に対応をしております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	6	2		
	14	個人情報に十分注意しているか	16	3	0		
非常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	4	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	2	1		
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	15	3	0		